PICK UP MOVIE

©2020「きまじめ楽隊のぼんやり戦争」フィルムプロジェクト

きまじめ楽隊のぼんやり戦争

〔2020 年／日本／ 105 分〕 出演：前原滉、今野浩喜、中島広稀、清水尚弥、橋本マナミ、矢部太郎、片桐はいり、きたろう、嶋田久作、竹中直人、石橋蓮司
監督・脚本・編集・絵：池田暁

“9 時から 5 時まで、今日もきちんと戦いましょう！”

［あらすじ］一本の川を挟んで「朝 9 時から夕方 5 時まで」規則正しく戦争をしている二つの町。津平町に暮らす露木は、真面目な兵隊だ。朝から川岸に出勤し、お昼は気まぐれなおばさんの定食屋。夕方になれば、物知りなおじさんの煮物を買って帰って、眠るだけ。川の向こうの太原町をよく知るひとはいない。だけど、とてもコワイらしい。ある日突然、露木が言い渡されたのは、音楽隊への人事異動 ?! 家で埃を被ったトランペットを引っ張り出したはいいものの、明日からどこへ出勤すればいいのやら…。そんな中、ひょんなことから出会ったのは向こう岸から聞こえる音楽だった。その音色に少しずつ心を惹かれていく一方、町では「新部隊と新兵器がやってくる」噂が広がっていて――。

〔上映日程〕**8/28~9/10**（休映：9/6）

おかしい、ヘンだと思いながら、ずるずるそっちへ進んでしまうのは何故だろう

コロナ禍になって自由が制限され命が脅かされるのを感じたとき、私はあらためて人生の大事な時期を戦争に巻き込まれた父母の世代の悔しさに思いをはせた。そしていま、新型コロナウィルスのパンデミックのさなかに、世界中から人を集めてオリンピックを開催するという愚挙を目の前にして、私たちはほとんどなすすべがない。

おかしい、ヘンだ、イヤだ、と少なからぬ人が思っているのに、そちらへずるずると進んでいってしまう。過去の戦争もそうだったというし、いまのオリンピックもそうだ。なぜそうなってしまうのか、というのを深く考えようとしたのがこの作品だ。

主人公の露木は、毎日同じ時間に起き、同じ服装で仕事に向かう。仕事は向う岸の町との戦争。向う岸には何があるか、なぜ戦争をするのか、などは考えず、決められたとおりのことをする。号令をかける町長は、大事なことをすぐに忘れるが、それには構わず同じことをひたすら繰り返す。そんな小さい町の出来事は、私たちが日常生活でも行政の場でも見かける事によく似ているから、社会風刺かとも思われるが、それだけでは終わらない。

明らかにヘンなのに止められずに進んでいってしまうという理不尽は、いつの時代にも、どこにでもある。そういう普遍的な問題として描くために、監督は独特のスタイルを生み出した。どこにでもありそうな町、あいまいな時代設定、そして感情を込めず無表情で抑揚のないセリフ、様式化された日々の行動形態などだ。

無駄を排除し簡略化された物語を追ううちに、風刺の矢は自分に向けられてくる。自分のなかに確かにある思考停止、重要な決定を他者にゆだねてしまうクセ。それらに矢は鋭く突きささる。

tamura shizue
田村志津枝
ノンフィクション作家。一方で大学時代から自主上映や映画制作などに関わってきた。1977 年にファスビンダーやヴェンダースなどのニュー・ジャーマン・シネマを日本に初めて輸入、上映。1983 年からホウシャオシエンやエドワード・ヤンなどの台湾ニューシネマ作品を日本に紹介し、その後の普及への道を開いた。

8/22（日）13:15～『ヤンヤン夏の想い出』上映後、田村さんによるアフタートークあります。詳細は４ｐをご覧ください。

こちらの「となり町戦争」も併せてどうぞ！

わんぱく戦争

【デジタルリマスター版】

［1961 年（日本初公開：1963 年）／フランス／フランス語／モノクロ／ 94 分］PG12　監督：イヴ・ロベール　出演：アンドレ・トレトン、アントワーヌ・ラルチーグ、ジャン・リシュール、ジャック・デュフィロ　音楽：ジョゼ・ベルグマン「わんぱくマーチ」 原作：ルイ・ペルゴー「ボタン戦争」

〔上映日程〕8/28~9/10（休映：9/6）*字幕版と吹替版を上映します
〔鑑賞料金〕「週末こども映画館」推奨作品となりますので、お子様連れの大人の方1名につき、鑑賞料金一般¥1,200にてご案内致します。＊その他通常通り

美しい自然に囲まれた南フランスの片田舎
今日も悪ガキたちが “わんぱくマーチ” に乗って戦争ごっこに明け暮れる…
60 年前世界中で大ヒットした子供映画の傑作がスクリーンに戻ってきた！！

［あらすじ］南フランスの片田舎。美しい自然の中で、今日も人々は平和な営みを続けている。だが、子供たちの世界は別だった。彼らは自分たちの秩序をつくり、その中であり余る生命力をぶっつけ合うのだ。となり合った二つの村、ロンジュヴェルヌとヴェルランの子供たちは、いつも睨み合っていた。ロンジュヴェルヌの大将は体の大きい ルブラック。片やヴェルランの首領は ラズテック。戦場は村の境界にある砂地の原っぱ。勝った方が戦利品として相手の服のボタンをむしり取っていた。ある日のルブラックは、戦いに負けてボタンを奪われた挙げ句、家に帰ると親に大目玉を食らってしまった。今度は何とか無傷で勝ちたい。そこである妙案を思いつくのだった…。

©1962 ZAZI FILMS